

# 上手な医者へのかかり方【耳鼻科編】



気になる病気を正しく知っておこう  
**教えて! ドクター**

子供が少し調子悪そうな時、「鼻水少しぐらいなら」、「痛がってない大丈夫」と安易に考えていませんか? 子供は自分の調子を正確に表現できないので、大人が気付いて対処してあげなければいけません。

## 知っておきたい 大人と子供の違い

### ① 子供は口呼吸が下手

人が呼吸する時、呼吸全体の8割を鼻からできるのが正常の状態です。鼻呼吸が十分できなければ、それを補うために口呼吸をしなければなりません。そうすると口呼吸が下手な子供は途端に呼吸状態が悪くなり、また、のどの炎症を起こしやすくなります。

**鼻の状態のチェックポイント**

<p><b>寝ている時</b> 夜鳴きが多く何度も起きる。寝相が悪く上を向いて眠れない。口を開けて寝ている。</p>	<p><b>起きている時</b> ミルクの飲みが悪く、ポカッと口を開けている。</p>
--	---

### ② 子供は中耳炎になりやすい

子供は耳管(耳と鼻をつなぐ管)が身体の割に太くて短いのが特徴です。この耳管は鼻の一番奥に開いているので、鼻水が奥に溜まると容易に耳に炎症が広がります。しかも多くの子供は自分で上手に鼻をかめないで、鼻の炎症が悪化しやすい傾向があります。

痛みを伴う急性中耳炎であれば気付くのですが、中には痛みを起ささないけれど程度によっては難聴になる中耳炎(滲出性中耳炎)もあり、この場合は気付かれずに放置されることが多く、注意が必要です。

## 「耳鼻科と小児科、どっちに行けばいいの?」

鼻やのどは、真っ先にウイルスや細菌が侵入して炎症が起る所です。ですから、風邪の引き始めで鼻・のどの症状だけなら、耳鼻科で診てもらった方がよいでしょう。症状が軽度の方は鼻やのどの局所の処置だけで改善することも少なくありません。

せん。風邪をひくと中耳炎をおこしやすい、風邪をひくと鼻水がたらたら続く、などの傾向がある子供の場合は特に早目に耳鼻科受診をしましょう。

高熱でぐったりしている時、ゼイゼイと息苦しかったりする時、ひどい下痢や嘔吐を伴うような時、などは小児科の受診が必要です。

まずはかかりつけの先生(耳鼻科・小児科)どちらでも結構です。日頃から信頼関係を作っておくことが非常に重要です。なんでも相談に乗ってもらえる信頼できる先生がいれば、まず診てもらいましょう。適切な対処を取ってくれるはずです。

## 耳鼻科にかかる時の注意

- ① どんな症状か、
- ② いつ頃からあるのかを伝えましょう。
- ③ 気になる症状がいくつかある場合は、それらの症状がどんな経過で出てきたのか、どの症状が心配なのかも伝えること。

④ 他の病院にかかっている場合は、そこでの薬の内容がわかるものを持参して下さい。

どんな子供でも必ず調子を崩す時があります。その時になるべく早く手を打って、状態を悪化させたり、長引かせたりしないように対処することが必要で、その手伝いをするのが医師なのです。そのためには、まずはお母さんが子供の状態の変化にいち早く気付いてあげることが重要です。中耳炎や副鼻腔炎になつてしまった場合でも、しっかりと治療すれば改善することが多いので、医師の指示に従って通院して下さい。



プロフィール  
**解説・指導**  
 柴田 修宏先生

京都市で柴田クリニックを開業。耳鼻咽喉科の病気は見えないことが多く、患者が理解しにくいので、ていねいな説明を心がける。一般診療以外にびびき・睡眠時無呼吸の専門外来を設けている。

<http://www1.newweb.ne.jp/wb/shiba-ent/>